

リニューアル後初の助成活動を採択 芸術・文化による災害復興支援ファンド(GBFund) — 第 1 回採択結果発表 —

公益社団法人企業メセナ協議会(東京都港区芝 5-3-2、理事長:尾崎元規)は、このたび「芸術・文化による災害復興支援ファンド(GBFund)」の第1回助成選考委員会を行い、計11件へ総額350万円の助成を決定しました。採択活動のなかには数年間にわたり継続される活動も多く、任意団体としてスタートした主催団体が公益法人化するなど、大きく活動を育てながら、着実に芸術・文化を通じた復興支援に取り組む事例が見られます。当ファンドは、全国の災害被災地・被災者を応援するため集まった寄付金を芸術・文化活動へ助成するもので、前身の「東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド(GBFund)」(2011年3月23日開設)以来の助成総件数は274件、助成金額累計は144,033,187円となりました(7月26日現在)。採択活動の詳細は次頁をご覧ください。

【今回採択された活動の内訳】

- 東日本大震災 被災地エリアでの活動 …8件(うち「百祭復興」枠2件)、助成総額260万円
- 熊本地震 熊本・大分エリアでの活動 …3件(うち「百祭復興」枠1件)、助成総額90万円



撮影: 斎藤肇
一般社団法人アーツグラウンド東北
ダンス幼稚園～東北巡礼～



SASHIYORI Art Revival Connection
KUMAMOTO 熊本地震復興支援事業



熊本新町獅子保存会 百祭復興

※採択活動の例 (画像は過去活動写真)

■GBFund(ジービーファンド)とは



2011年3月23日、被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動や、被災地の有形無形の文化資源を再生する活動を支援するため、「東日本大震災 芸術・文化による復興支援ファンド(GBFund)」(G:芸術、B:文化、F:復興/ファンド)を立ち上げました。このなかには、地域における郷土芸能・祭りの重要性に着目した助成枠として、「百祭復興プロジェクト」枠を設置するとともに、2016年4月20日には熊本地震を受け「GBFund熊本・大分」の立ち上げも行いました。5年間にわたる取り組みを経て、今後も日本全国の災害に対して芸術・文化を必要とする地域に対応できるよう、2017年3月に「芸術・文化による災害復興支援ファンド」として名称と仕組みをリニューアル。今後も寄付の呼びかけと、芸術・文化を通じた復興支援を継続してまいります。

- WEBサイト: <https://culfun.mecenas.or.jp/grant/gbfund/>
- 『GBFund2011-2015 報告書』: http://www.mecenas.or.jp/ja/reading/post/mecenas_report_GBFund2011-2015/

■公益社団法人企業メセナ協議会

芸術・文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化に関わる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、文化振興に関する調査・研究、認定・顕彰、交流、発信等の事業を行う。会長：高嶋達佳（[株]電通相談役）、理事長：尾崎元規（花王[株]顧問）。会員 171 社・団体／22 名（2017 年 7 月 3 日現在）。

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人企業メセナ協議会 広報：末澤・佐藤(華)／助成：小澤・佐藤(華)

TEL: 03-5439-4520 | FAX: 03-5439-4521 | E-mail: press@mecenat.or.jp

〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 アイセ芝ビル 8 階 | URL: <http://www.mecenat.or.jp>

芸術・文化による災害復興支援ファンド(GBFund) 助成活動一覧【第1回】

活動名／実施者・団体名(所在地) 実施時期／実施場所(都道府県)	活動内容
<p>祭</p> <p>地域を元気づける郷土芸能活動</p> <p>大船渡市大船渡中学校(岩手県)</p> <p>2017年9月26日～2017年10月22日</p> <p>大船渡中学校(岩手県大船渡市)</p>	<p>大船渡市大船渡中学校の生徒たちが、地元で伝承される郷土芸能の指導を受け、練習の成果を文化祭にて発表する。30年間にわたり継続されている活動であり、郷土に対する誇りや地域に対する愛着心を育て、地域の伝統を守り継承していくリーダーを育成している。</p>
<p>祭</p> <p>会津田島祇園祭屋台歌舞伎舞台特別公演</p> <p>田島祇園祭屋台歌舞伎保存会(福島県)</p> <p>2017年7月15日～2018年3月31日</p> <p>御蔵入交流館 南会津町文化ホール(福島県南会津郡)</p>	<p>南会津町田島地域で800年余りにわたり開催されている国指定重要無形文化財「会津田島祇園祭」の「大屋台運行」の際に上演される屋台歌舞伎を、田島小学校3年生の児童及び田島祇園祭屋台歌舞伎保存会会員が文化ホールにて行う。児童53名が「一人一役」で必ず携わり自分たちで歌舞伎を仕上げることで、郷土への愛着心を育む。</p>
<p>ダンス幼稚園～東北巡礼～</p> <p>一般社団法人アーツグラウンド東北(宮城県)</p> <p>2017年7月16日～2018年2月2日</p> <p>南相馬市北町保育所、大船渡市大船渡保育園、八戸市うぐいす保育園(福島県、岩手県、青森県)</p>	<p>幼稚園内の至る所で同時多発的にダンスが起こり、鑑賞者は自由に移動しながらダンスを鑑賞する。劇場に足を運ぶことが難しい幼児や保護者にダンス鑑賞の機会を持ってほしい、また言語表現が十分でない幼児に対して身体表現を通し災害ストレスを軽減したいという願いから、2012年より始まり、幼稚園や保護者からの要望により継続されている。また、幼稚園の地域住民にも声がけし参加してもらうことで、地域コミュニティの形成にもつなげている。</p>
<p>福島県沿岸部「被災者コミュニティ形成」及び「被災者支援」ミニコンサート事業</p> <p>公益財団法人音楽の力による復興センター・東北(宮城県)</p> <p>2017年7月16日～2018年3月31日</p> <p>富岡町生活復興支援センター(福島県双葉郡)、いわき平交流サロン(福島県いわき市)ほか</p>	<p>地域の被災者支援団体等と協力し、被災者に寄り添ったコンサートを行う。クラシックにこだわらず、参加者の年齢や会場、被災状況に合わせたプログラムを組み、コンサート後は交流会を行い、コミュニティを形成する契機としている。東日本大震災から2週間後に仙台フィルハーモニー管弦楽団と市民有志による任意団体として立ち上げられ、これまでに700回近いコンサートを開催しており、2014年には公益法人としての認定を受け活動している。</p>
<p>山形国際ドキュメンタリー映画祭 2017 震災特集プログラム「ともにある Cinema with Us 2017」</p> <p>認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭(山形県)</p> <p>2017年7月17日～2018年3月30日</p> <p>山形美術館、アーツスペース kuguru、山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー(山形県山形市)</p>	<p>山形国際ドキュメンタリー映画祭 2017 において、東日本大震災特集プログラムとして、東日本大震災に関する記録映画の上映、トークセッション、ワークショップを行う。また、映画祭後の翌年3月には「ともにある 2017」を振り返るリバイバル上映会も行う。これらのプログラムを通し、教育現場と映像制作・配給の現場がつながり、映像を媒介として震災教育をより効果的なものへと発展させるためのネットワークづくりの一助となることを目指す。</p>
<p>気仙沼演劇塾うを座 2017 年度公演「(仮)虎斑猫のあしあと」</p> <p>気仙沼演劇塾うを座(宮城県)</p> <p>2017年7月16日～2017年12月31日</p> <p>サンマリン気仙沼ホテル観洋(宮城県気仙沼市)</p>	<p>うを座に所属する子どもたちと、気仙沼市内およびその近隣在住の一般市民を出演者とし、気仙沼市内のホテルを会場に公演を行う。気仙沼の離島「大島」に伝わる民話「涙の松」を構成元とした作品をはじめ、いくつかの地元の民話にまつわる作品を扱うことで、気仙沼の風土や歴史などく身近すぎて目に入らない文化に触れる機会を子どもたちへ提供する。</p>

活動名／実施者・団体名(所在地) 実施時期／実施場所(都道府県)	活動内容
三陸のまちびらきを彩る「チーム信太くん」 三陸まちづくりアート実行委員会(岩手県) 2017年7月20日～2018年3月31日 大船渡駅周辺地区(岩手県大船渡市)	美術家の井上信太氏を招へいし、三陸国際芸術祭の舞台となる大船渡駅周辺地区にてアートワークショップの開催、ドキュメント映像制作を行う。美術ワークショップを通して、市民や子どもたちに、まちに命を吹き込むことに参加したんだという実感を持っていただき、市民自らが能動的にまちの文化や未来を担う下地づくりを行うことを目的としている。
障害のある人を含む多世代・多文化な東北の市民と共に作る舞台創作活動 NPO法人アートワークショップすんぷちよ(宮城県) 2017年7月16日～2017年9月30日 宮城野区文化センターパトナシアター(宮城県仙台市)	障害者と健常者合計30名が出演するコンテンポラリーダンス公演を開催する。コンテンポラリーダンスの舞台公演とその創作において、障害のある人の自己表現を後押しし、ポジティブな精神を育み、自立に向けて一歩踏み出す支援と、これまで障害者との接点がなかった市民が障害者と共同する機会を生むことで、災害時でも障害者が孤立しない地域の繋がりを生み出すことを目的とし、参加者がアイデアを出し、動きを考え、振り付けを行う集団創作を行う。
熊本新町獅子保存会 熊本新町獅子保存会(熊本県) 2017年7月16日～2017年9月17日 藤崎八幡宮および新町界限を中心とした熊本市内	新町獅子は雄獅子である赤獅子と雌獅子である黄獅子が一对となり、和紙を重ねてつくった約8kgの獅子頭を握り棒で巧みに操りながら舞う形式の獅子舞であり、藤崎八幡宮の神事の一つとして約400年継承されて来た。地震により道具が破損したが、それらの修復を行い、藤本八幡宮で舞を奉納することで、若い世代へ技術や手法のみならず、新町獅子の歴史の重みを直接伝え、後継者の育成を行う。
SASHIYORI Art Revival Connection KUMAMOTO 平成29年熊本地震復興支援事業 SASHIYORI Art Revival Connection KUMAMOTO(熊本県) 2017年7月16日～2018年3月31日 塚原仮設住宅(熊本県城南町)、舞原仮設住宅(熊本県城南町)ほか	仮設住宅団地内や、震災被害の大きかった地域で、アーティストと一緒に作品をつくる、鑑賞する、身体を動かすなどの、アートによる支援活動を展開する。要望がある仮設住宅団地には定期的にアーティストを派遣し、被災者に活力が生まれるように働きかける。また、被災地での支援活動のための研修会を行い、未支援者の発掘と支援の拡大につなげる。
絵本の時間だよ！ 公益財団法人熊本県立劇場(熊本県) 2017年7月16日～2017年11月4日 ホテルグリーンピア南阿蘇ホール(熊本県阿蘇郡)	公共ホールや公立図書館が設置されていない南阿蘇地域において、被災した方々へのアートを通じたこころの復興のため、小林顕作による読み聞かせの無料公演を実施する。また、この事業を機に、南阿蘇地域と連携した公演やワークショップに継続的に取り組むことで、南阿蘇地域の文化振興に寄与する。



※百祭復興プロジェクト枠採択活動